

令和8年度第1回練馬区在宅療養推進協議会 在宅療養専門部会 会議概要

1 日 時	令和8年5月 19 日(火) 午後6時 30 分～午後7時 15 分
2 場 所	Zoom
3 出席者	< 委員 > 出席者: 寺本委員、生田委員、會田委員、尾崎委員、栗原委員、丹正委員、土屋委員、岡崎委員、高野委員、関委員、鈴木(健)委員、横山委員、中島委員、 富田委員(部会長、地域医療担当部長)、村野委員(地域医療課長)、西方委員(高齢者支援課長)、阿部委員(介護保険課長) 欠席者: 大城委員、土方委員、鈴木(小)委員 < 事務局 > 地域医療課
4 公開の可否	公開
5 傍聴者	—
6 次 第	1 案件 (1) 令和7年度練馬区在宅療養推進事業 ア 令和7年度練馬区在宅療養推進事業実施結果報告 イ 令和7年度練馬区在宅療養推進事業結果まとめ (2) 令和8年度練馬区在宅療養推進事業 ア 令和8年度練馬区在宅療養推進事業スケジュール イ 医療・介護・消防連携事業 (3) その他
7 資 料	○資料1 令和7年度練馬区在宅療養推進事業実施結果(令和8年3月末) ○資料2 令和7年度在宅療養推進事業結果まとめ説明資料 ○資料3 令和8年度練馬区在宅療養推進事業スケジュール ○資料4 医療・介護・消防連携事業について ○参考資料1 練馬区在宅療養推進事業(令和6～8年度) ○参考資料2 区事業(ひとり暮らし高齢者対策事業)の紹介 ○参考資料3 退院時連携シート(介護サービス事業者連絡協議会居宅介護支援部会) ○参考資料4 指定訪問看護事業者における医薬品の取扱い(練馬区薬剤師会)
	練馬区 地域医療担当部 地域医療課 医療連携担当係 電話 03-5984-4673

会議の概要

(1) 令和7年度練馬区在宅療養推進事業

ア 令和7年度練馬区在宅療養推進事業実施結果報告

(部会長)

令和7年度の事業実施結果について事務局から説明させていただきました。こちらにつきまして、ご意見やご質問がありましたらお願いいたします。それでは次に進めさせていただきます。

イ 令和7年度練馬区在宅療養推進事業結果まとめ

(部会長)

令和7年度の取組を、専門職向けと区民の皆様向けで分類した形でまとめてご報告をさせていただきました。こちらについてご意見やご質問はございますか。

(委員)

高齢化の進展に伴い更なる在宅医療ニーズの増加、災害時の BCP や ACP については話がありましたが、小児の在宅療養支援は在宅療養専門部会においてどういう位置づけになりますか。

小児の在宅医療は高齢者とともに大変重要な課題と思っています。医師会でも小児科医によりワーキンググループが立ち上がっていますが、こちら(当専門部会)では、今年度以降どのような取組があるのか、他に専門部会等があるのか教えてください。

(事務局)

当専門部会は、小児について取り組まないわけではございませんが、高齢者向けの在宅療養を中心に話をさせていただいております。今後も、当面は高齢者向けが中心になると思いますが、医師会で研究会が昨年度立ち上げられ、区の管理職も参加しておりますので、情報提供をさせていただきたいと考えております。

(部会長)

小児の在宅療養も考えていかないといけないと思いますので、また情報を共有させていただければと思っております。

(委員)

小児在宅については、勉強会を毎年開催しています。練馬区で小児在宅に対応する在宅医は限られているので、練馬区の中で小児在宅に取り組む体制を作りたいという話をしています。

(部会長)

他にいかがでしょうか。それでは次に進みます。

(2) 令和8年度練馬区在宅療養推進事業

ア 令和8年度練馬区在宅療養推進事業スケジュール

(部会長)

令和8年度の各事業の説明をさせていただきました。こちらについてご意見やご質問はございますか。

今年度から医師会で実施されているチューター制度について、コメントをいただければと思いますがいかがでしょうか。

(委員)

チューター制度は具体的にはまだ開始していないものの、在宅医療に取り組みたい医師が、常に在宅医療に従事している医師から助言を受けることは既に行われております。今年度、制度として定着させていきたいと考えています。

(部会長)

チューター制度は、まだ具体的には開始していないということでしたが、練馬区としても一緒に取り組ませていただきたいと思います。それでは次に進みます。

イ 医療・介護・消防連携事業

(部会長)

医療・介護・消防連携事業についてご説明させていただきました。最後に今後のスケジュールも説明させていただきました。こちらについてご意見やご質問はございますか。

(委員)

今回のアンケートは紙ベースで行うのか、デジタルで行うかを教えていただけたら幸いです。

(事務局)

アンケートは、職種ごとに紙が良いか、デジタルが良いかが分かれると思いますので、実施前に各職種の代表の方にお声がけをして、どちらが回答しやすいかとお聞きした上で、検討いたします。場合によっては、紙とデジタルの併用もありうると思っております。

(委員)

以前、医療・介護・消防委員会で委員長をしていました。今、消防署との話し合いの場があまりない状況だと思います。以前は区役所の会議室でグループディスカッションをすることで、お互いに顔の見える関係となり、より良い話題提供ができ、実情もわかると思いますので、そのような機会があった方が、次に向けて相談できると思います。実際に、「119 あんしんシート」はその委員会から実現したので、事業としては非常に良いと思っています。

(事務局)

ACP 勉強会や「119 あんしんシート」は、過去に開催した医療・介護・消防連携事業の小委員会や意見交換会から実現したところではございますので、意見交換の場が今後の事業につながることは重々承知しております。消防の意見を伺いながらにはなりますが、連携方法については引き続き検討させていただければと思います。

(部会長)

顔を合わせていろいろ話をしていくことは非常に大事なことだと思っておりますので、また検討していきたいと思っています。

(委員)

参考資料2に関連して、ACP の啓発動画を社協での説明会で紹介していただくのはいかがかと思っております。

(事務局)

参考資料2は情報共有という形でお配りをしており、追加の説明は予定しておりませんでした。

昨年度作成した ACP 啓発動画は、地域医療課が主体となった事業での上映や病院の待合室でご案内を予定しているところです。関連する部署の事業での紹介については、今後検討させていただきます。

(部会長)

そのほかにいかがでしょうか。では、先に進めさせていただきます。

参考資料1と参考資料2は、皆様に情報提供としてお配りしておりますので、お目通しいただければと思います。最後に全体についてご意見いただきますので、その中で確認したいこと等ありましたら、ご意見いただければと思っております。

(3) その他

(部会長)

参考資料3について、居宅介護支援部会より退院時の連携シートの資料提供がございましたので、ご説明をお願いいたします。

(委員)

参考資料3「退院時連携シート」は、昨年から居宅介護支援部会で話を進めており、厚生労働省が作成したものを基に練馬区版を作成しました。今後は入退院時、特に退院時の情報共有が必須になるため、実際に使いやすくないかとケアマネージャーを中心に意見交換をして編集させていただきました。

今年度は、シートをどのように活用するか話し合いを進める予定です。どのようなケアマネージャーでも退院時の情報連携がスムーズに行えるように、フローチャート化やマニュアル化を進めていく予定です。

(部会長)

退院時の連携シートについてご説明いただきました。こちらについて、ご質問やご意見がありましたらお願いいたします。

(委員)

非常に良い取組だと思います。

国で、医療DXを進めていて、その資料を見ていると、2030 年を目指して、医療と介護の情報を共有する仕組みを作ろうと、デジタル庁等が取組を進めています。練馬区で把握していることはありますか。今後、医療と介護についてどのように医療DXを進めていく予定でしょうか。厚生労働省のホームページにも書かれているが、アクセス権や情報をどういう形にするのかは分からないところもあります。

(委員)

介護情報について、オンラインで関係者間の共有ができることについて、簡単に説明させていただければと思います。介護情報基盤というプラットフォームの構築を進めているところで、令和8年度から順次、介護情報基盤の準備が整った自治体から接続を開始している状況です。大分県の大分市、別府市が国のモデル事業を実施しており、先行して接続を開始しております。そのような実績を踏まえまして、他自治体にも今後広げていく形になっております。

練馬区は、介護情報基盤に接続するにあたり、先に介護保険システムが国で統一した標準仕様書に基づくシステムにバージョンアップすることが必要となります。令和9年1月に国の定めた標準仕様書のシステムに移行し、令和9年10月から介護保険システムを介護情報基盤に接続を開始する予定です。具体的な操作方法や閲覧権限などは、国から案内がない状況ですので、情報が参りましたら、皆様にお伝えさせていただきたいと考えております。

(部会長)

他にいかがでしょうか。それでは次に進みます。

次に参考資料4でございます。練馬区薬剤師会より、指定訪問看護事業者等における医薬品の取扱いについて、資料提供いただいております。ご説明お願いいたします。

(部会長)

ありがとうございました。この件についてご意見・ご質問等ありましたらお願いいたします。

(委員)

このシステムは、特定の患者を念頭に置いて行うのか、特に患者は決めずに必要になった時に動けるようにしておくのか、どちらでしょうか。

(委員)

今回のフローチャートは、地域の医療体制を構築するための仕組みであり、練馬区のように既に多職種連携ができているところでは、個別の患者にきめ細かく対応していると思いますので、このような体制があることは望ましいと思いますが、現実的に必要かどうかは疑問があります。このシステムは、個別よりも「何かあった時のために」という考えのもとだと理解しております。

(部会長)

全体を通じて、ご意見・ご質問ございますか。

本日委員の皆様からいただいたご意見は事務局で整理し、後日改めて委員の皆様にご確認いただければと思います。次回の第2回専門部会は10月を予定しており、改めて事務局から連絡いたしますので、お忙しいところ恐縮ではございますが、引き続きよろしく願いいたします。それでは本日の専門部会は終了させていただきます。